

2016年(平成28年)1月14日(木曜日)



札幌駅前通地下歩行空間で開かれた増毛山道フォーラム2016

増毛山道の魅力に理解

札幌のフォーラム盛況

留萌振興局主催の増毛山道フォーラム2016が10日、札幌駅前通地下歩行空間で開かれた。セミナーと山道展合わせて約1600人が来場し、歴史的価値がある山道の魅力などに理解を深めた。

フォーラムは、振興局の独自事業「留萌管内完全再生達成記念」増毛山道普及

拡大事業の一環として実施。午後1時半から同歩行空間北3条交差点広場西で増毛山道ふれあいセミナーを開催した。いす85脚を用

意したが、立ち見を含め約100人が参加する盛況ぶりだった。

セミナーでは、最初にNPO法人増毛山道の会(伊達東会長)の小杉忠利事務

局長が増毛山道に残る明治時代の電信柱や電線、郵便物中継や宿場として利用された武好駅通跡地、1等水準点、22年度から始まった復元作業、23年度から実施している体験トレッキングが人気を集めていることなどを紹介した。

続いて、北海道大学農学研究院生物資源生産学部門園芸緑地学分野花井・緑地計画額研究室の愛甲哲也准教授が、増毛山道の今後の維持管理に向けて「ボランティアの確保や活動資金集め、民間事業者との連携が必要だ」と訴えた。

国土交通省国土地理院北海道地方測量部の岩田昭雄次長は、増毛山道の1等水準点について「設置されている17基のうち、これまで

に9基が発見されているが、残念ながら破損して失われているものもある」と解説。日高管内えりも町教育委員会郷土資料館ほろいずみの中岡利泰館長は、平成15年に復元し、同年から体験トレッキングを行っている同町の猿留山道を紹介した。

また、この日は午前9時から同歩行空間憩いの空間で増毛山道展を開催。増毛山道を撮影した写真パネルや航空パノラマ写真などを展示し、訪れた市民らが興味深そうにじっくりと眺めていた。(原田学)